

超繰り込み理論の 応用による未来予言

高天原研究所

はるか遠い昔より各種の方法で予言がなされている。しかし それら予言の多くは特殊な感受性を必要としたり、また一般の人々に流布される際には解釈が一様でなかったりした。

よってどんな事象が起るのか具体的に解らなかったり 事象の起きた後に予言との一致点が見出されたりする状況である。よって予言そのものの評価も難しく さらに日常生活に予言を活用することは不可能であった。

そこで科学的な予言として ラプラスの鬼が持つ「宇宙方程式」を「超繰り越み理論」を用い近似解析する方法を開発した。

結果、有意な実用性が得られたので報告する。

宇宙方程式

天文学者、ラプラスは全宇宙の挙動を記述した微積分方程式 = 宇宙方程式を仮定し この方程式を知る鬼（デーモン）によって宇宙に発生するすべての事象を計算によって弾きだせるとした。

この宇宙方程式は宇宙に関しすべての時間、空間での事象を表わすことができる。よって宇宙方程式を用いれば予言どころか断言によって未来を迎えることができる。

しかし今日の科学技術においては下記の2点の問題がある。

1. 宇宙方程式が如何なるものか想像もつかない。
2. もし宇宙方程式が判ったとしてもすべての項を計算しきれない可能性がある。

宇宙方程式は予言に使えるような現状になく未だ 科学精神のシンボルでしかない。

そこで宇宙方程式を別の見方で捉えてみる。何等かの事象が起るとは その事象に關与する素粒子に何等かの相互作用が起ったことに外ならない。相互作用に関して現在の物理学では重力、電磁力、核力、弱力の4つが確認されている。5番目の力の存在も噂されているが今回は省略し考察した。しかし5番目の力は人間生活のレベルでの素粒子の精細な記述の為には無視できない要素であることが推測される。

さて先の重力、電磁力、核力、弱力の4力の和で事象が起るとすると 4力の和を適当な時間積分する形の宇宙方程式が考えられる。これにより未来の事象を知り予言とすることができるのである。

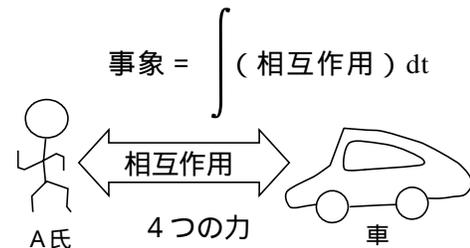


図 1 A氏と車の相互作用

図1においてA氏と車は4力の相互作用をしている。この相互作用は事象の加速度と見なせる。したがって4力の和を時間で積分するとA氏と車に関する事象の運動が解る。結果A氏が交通事故の犠牲になるか否かが予言できる。

4力の和を時間で積分する形によって宇宙方程式を簡易な状態で利用できるのである。

超繰り越み理論

ある物体同士の相互作用を計算するとなると膨大な計算を強いられる。それぞれの物体を構成する粒子それぞれの相互作用を計算しなくてはならない。また無限大の力が発生してしまった場合、以降の計算数値の意味がなくなってしまう。

簡易な形にまとめた宇宙方程式の真価も発揮できなくなってしまうのである。

そこで超繰り込みによって物体を記述の容易な巨大な素粒子と見なして計算を行う。

例として牛乳の消費量と心疾患死亡者の数に関して超繰り込みを応用する。

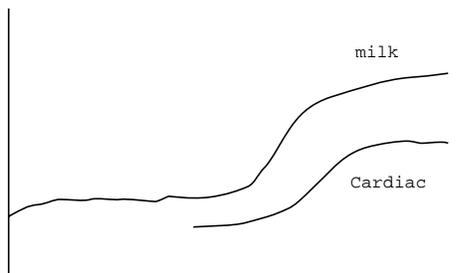


図 2 牛乳消費量と心疾患死亡者数

図 2 において牛乳消費量と心疾患死亡者数は正の相関にあり 加えて時間差を考慮するとほぼ同じ挙動を示している。しかし心疾患死亡者の変化率は少ない。もちろん これは牛乳を飲むと心疾患になることを示しているのではない。

人口の増加という現象が影で起きているだけである。

しかし超繰り越み理論では人口の増減は逆に牛乳消費量に繰り越まれ 牛乳消費量の関数として心疾患死亡者数を捉える。よって数年前の牛乳消費量から来年の心疾患死亡者数を予測する事が可能となる。

超繰り越み理論を 宇宙方程式に具体的に応用すると下記のようなになる。

- 1 . 核力、弱力は到達距離が短いので 1 mm 以上の空間では無視する。
- 2 . 電磁力は 1 mm 以上の距離で電離等モーメントが発生している以外は無視する。
- 3 . 重力は最大作用の 1 万分の 1 以下は無視する。
- 4 . 5 番目の力は現在詳細が解らないので無視する。

以上によって極普通の事象の予言には大きな重力の変化だけを捉えれば良いこととなる。これでスーパーコンピュータによって実用精度の計算が可能となった。

万人万代が焦心した予言は 意外に簡単な方法で実現が可能となった。

超繰り越み型簡易宇宙方程式が完成された。

宇宙方程式を簡易な形で考察し さらに超繰り越み理論の応用によって計算による科学的な予言が可能となった。精度や範囲を特別限定的にすれば市販のパーソナルコンピュータ規模でも計算可能である。

表 1 は F 社の FM - 7 0 0、ハイパーインライン・アレイプロセッシングシステムによって計算された近日未来の予言である。これによって超繰り越み型簡易宇宙方程式による予言の正しさが証明される。

1990	8.18	旅客機が太平洋上に墜落
	8.25	浅間山が大規模な噴火
	9. 3	関東北部沖で地震発生 津波の被害あり
	9.26	強い勢力の台風が来襲
	10. 5	列車事故により多数が死傷
	10.17	大規模な暴動が発生、 軍事行動もある
	12. 4	暴風雨発生 海岸部の被害大
	12.15	大地震&大荒天、都市機能の麻痺を含む大きな被害

表 1 近日未来の予言

超繰り越み型宇宙方程式は簡単な計算によって予言を行うことが可能で かつ大きな事象程精度が高いという特長をもっている。この理論によって各方面で未来予測が実用化される。

これは文明社会の偉大な財産となろう。

今後は より適格な超繰り越みの方法、小さい事象で無視できない超不確定性原理、加えて 3 m ~ 3 GM の距離で問題となる 5 番目の力「ハイパーチャージ」等に着眼し より簡単で高精度の予言方法を確立実現させたい。